

## 施設紹介

### 磐田市民文化会館「かたりあ」

磐田市民文化会館「かたりあ」は、文化を継承し、創造し、発展する新しい拠点として2022年7月に開館しました。人々が集い、語り合い、「市民の活動」が大屋根の下でつながるような空間となっています。



# 「小規模多機能自治」シンポジウム 磐田市が目指す これからの地域の ありかたとは


- 第1部 基調講演 (90分)
- 第2部 地域づくり実践事例報告 (中学生以上全住民アンケート)
- 第3部 パネルディスカッション

令和4年  
**11月20日** 13:00~17:00  
磐田市民文化会館「かたりあ」




## 地域デザイン推進室の業務

- ▶ (仮称)協働のまちづくり基本条例の制定
- ▶ 市民ファシリテーターの養成
- ▶ 小規模多機能自治の実現に向けた取組みの推進
- ▶ 自治会連合会や福祉団体との連携等の検討
- ▶ 地域づくり協議会に関する支援
- ▶ 地域活動情報交換会の実施

 交流センターだより  
地域づくり協議会だより



 小規模多機能自治  
推進ネットワーク会議



 里山くらしLABO



シンポジウムに参加した感想をお聞かせください。



## 小規模多機能自治とは

自治会、町内会、区などの基礎的コミュニティの範囲より広範囲の概ね小学校区などの範囲において、その区域内に住み、又は活動する個人、地縁型・属性型・目的型などのあらゆる団体等により構成された**地域共同体**が、地域実情及び地域課題に応じて住民の福祉を増進するための取組を行うことです。

地域共同体  
イメージ

地域の住民・  
あらゆる団体が  
集結



## 講師の紹介

### 川北 秀人 氏 (IIHOE 人と組織と地球のための国際研究所)



磐田市にはこれまでも、自治会連合会様主催の研修などでお伺いし、人口・世帯構成の推移などをもとに、「これまで」と「これから」の違いを確認したうえで、地域づくりに求められる進化についてお話しさせていただいてまいりました。今回のシンポジウムでは、地域の持続可能性を高めるために必要な方策について、市内のお取り組みもご紹介いただきながら、多くの市民のみなさまと、意見交換できればと考えております。

1964年大阪生まれ。87年に京都大学卒業後、(株)リクルートに入社。広報や国際採用などを担当して91年退社。その後、国際青年交流NGOの日本代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、94年にIIHOE設立。市民団体のマネジメントや、企業の社会責任(CSR)への取り組みを支援するとともに、NPO・市民団体と行政との協働の基盤づくりを進めている。

- ・IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者兼ソシオ・マネジメント編集発行人
- ・(特)JEN共同代表理事(2004年から2010年、2018年より再任)
- ・(一社)ソーシャルビジネス・ネットワーク 理事(2011年より)
- ・(公財)日本自然保護協会 評議員(2002年より)
- ・(特)自然体験活動推進協議会 監事(2005年より)
- ・(一財)日本民間公益活動連携機構 評議員(2018年より)
- ・大阪大学大学院 国際公共経営研究科 客員助教授(NPOマネジメント)(2003・2004年度)
- ・(特)東京シューレ 理事(2021年より)



磐田市地域づくり  
講演歴

令和2年12月 自治会連合会・市共催:地域づくり協議会役員等  
令和3年 7月 市主催:商工会議所青年部会や青年会議所など若い世代等  
令和3年12月 自治会連合会・市共催:自治会長等

## 報告者の紹介

### 里山くらしLABO



令和4年度、里山くらしLABOの支援を受けながら市内4地域(長野、豊岡東、豊田東、豊浜)が中学生以上全住民アンケートを実施して、86%から97%と高い回収率となり、まさに地域力を感じるとともに、里山くらしLABOの丁寧な仕事ぶりがうかがえる結果となった。

2015年設立。静岡県静岡市の中山間地域の子育て支援や移住促進支援をきっかけに、人口減少と高齢化に対応するコミュニティづくりのサポートをはじめ。当事者でも行政でもない、第三者の視点による伴走支援を主とし、地域課題の数値化・可視化、地域活動の目的の再確認や、組織や

役職、行事の見直しなど、自治会を主とする地域活動の当事者が、時代の変化に対応できるしなやかな地域運営組織づくりを応援する。2018年から、静岡市主催の地域を担う人材の養成塾「地域デザインカレッジ」の専任講師や地域活動の好事例発表会の企画運営を務め、2020年には静岡市内の1000を超える自治会長を対象にアンケートを実施し、課題を明示したりすることで、自治会や地域づくりを担う住民をサポートしている。46地方紙と共同通信社が主催する「第8回地域再生大賞」において特別賞を受賞。



## パネリストの紹介

講師・コーディネーター

### 川北 秀人 氏 (基調講演講師、IIHOE代表)

パネリスト



### 日詰 一幸氏

静岡大学学長  
(仮称)磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会委員長  
2000年より静岡大学人文社会学部教授(2012年学部長)に就任。2021年4月より静岡大学学長に就任。専門は、行政学、地方自治論、NPO論など。



### 鈴木 まり子氏

特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会フェロー  
磐田市男女共同参画審議会会長  
ひとりひとりが「尊重され、存在できる」参加型の場づくりを目指して会議やワークショップなど話し合いを進行。また、その手法と考え方「ファシリテーション」を伝える研修を企画・全国で実施している。



### 土肥 潤也氏

NPO法人わかものまちなち事務局長、いわた高校生まちづくり研究所講師  
1995年、静岡県焼津市生まれ。早稲田大学社会科学部研究科修士課程修了、修士(社会科学)。2015年に、NPO法人わかものまちなちを設立。2020年に、一般社団法人トリナスを共同創業、現在は代表理事。



### 唐木 啓介氏

群馬県健康福祉部副部長  
磐田市出身。2001年4月に厚生労働省に入省。介護予防サービスの創設、税・社会保障一体改革、高齢者医療保険制度の施行、医療提供体制改革、コロナ下の生活困窮者支援、地域共生社会の推進などを担当。2022年7月から群馬県に健康福祉部副部長として出向中。



### 板持 周治氏

雲南市役所政策企画部次長兼 地域振興課長  
2004年雲南市政策企画部政策推進課に配属。2012年に現部署に異動し、主に小規模多機能自治を担当。2015年に全国の横断的組織として設立した小規模多機能自治推進ネットワーク会議に事務局として関わり、現在は10年目。



### 草地 博昭

磐田市市長  
NPO法人磐田市体育協会にて事務局長を務め、平成25年に磐田市議会議員に初当選。以来、市議会議員を2期務め、その間、議会運営委員長、予算決算委員長、民生教育委員長を歴任。